

1日防災訓練

6月20日(金)、2年次の生徒が1日防災訓練を行いました。3部構成で行われ、生徒は様々な活動を通して「自助・共助・公助」の大切さと高校生の役割について学ぶことができました。

第1部

VTR視聴・講演会



第1部では、生徒が視聴覚室に集合し、結団式が行われました。防災訓練の意義を確認した後、NHK「首都直下型地震」のVTRを視聴しました。内閣府中央防災会議作成の被害想定に基づいて作られたドラマですが、地震に関する映像に息をのむ生徒の姿が見られました。起こりうる被害や恐怖を感じることで、防災の大切さやどう備えるべきかをよく考えさせられる時間となりました。

また、青梅市役所防災課の方から「高校生に求める防災力」というテーマで講演をしていただきました。防災に関する知識はもちろん、日常生活や将来に対する心構え、そして自分や大切な人を守るために必要な力についてお話していただきました。生徒は、具体的なアドバイスや事例から、高校生として身に付けたい危機管理能力や冷静な判断力の重要性、自分たちが率先して動くべき年齢になっていることなどを改めて実感したようでした。



第2部

分野別体験

第2部では、事前に決めた班に分かれ、分野別の体験学習を行いました。技術の習得を目指して、互いに声をかけ合いながら、一生懸命に取り組む姿が印象的でした。



給水運搬訓練

学校から徒歩15分ほどの場所にある千ヶ瀬浄水所へ移動し、水道局の方のご指導の下、応急給水体験や応急給水栓組立などを行いました。非常用給水袋に給水した6Lの水を学校まで運搬し、災害時における水の重要性を学ぶとともに若い力が地域の手助けになることを再認識しました。



↑ 給水の様子

水の重さに驚きながら、背負って学校まで運搬しました！



応急救護

消防隊員の方に丁寧に教えていただきながら、実際の応急処置の方法や心肺蘇生までの手順を学びました。緊急時に役立つ貴重な知識です。生徒たちも真剣に取り組み、命の大切さと応急救護の重要性について学んでいました。実践形式で行うことで、学びを深めることができました。



心肺蘇生は早さと的確さがとても大切です！皆、テンポ良く進めていく様子が見られました。



炊き出し

クラスごとに分かれ、昼食となるアルファ米の炊き出しを行いました。衛生管理に気を付けながら班員で協力して作業を行い、美味しそうなお飯が出来上がると生徒からは歓声が上がりました。生徒は、実際の避難所の状況を想定しながら、出来上がったアルファ米をパック詰めし、クラスメイトに配りました。



VR・起震車体験

VR車では、VRゴーグルを装着し360度の立体映像と揺れ・風圧・熱などの演出による地震の疑似体験を行うことができ、起震車では震度6の地震を体験することができました。生徒たちは驚きながらも、実際の被害にあった時の状況や怖さを感じている様子でした。体験することで得られた学びもあったことと思います。知るこの大切さから、「備えあれば憂いなし」を改めて実感したことでしょう。



分野別体験では、他にも消火訓練や煙体験を行いました！

第3部

クラス報告会・クロスロードゲーム

第3部はクラスに戻り、ジグソー法で班に分かれて各体験の報告会・意見交換を行いました。生徒は、班員がそれぞれ体験してきたことに興味を持ち、質問をしたりメモをしたりと活発に活動していました。また、新たな気づきや自分の考えをワークシートに記入する生徒も多く、学びを深めている様子が見られました。

報告会の後は、班ごとにクロスロードゲームを行いました。ある災害場面での行動について、YESかNOにわかれ、自分の考えをお互いに発表しました。災害対応には必ずしも正解があるとは限らず、それぞれの災害対応の場面で、誰もが臨機応変に考え対応することや災害が起こる前から考えておくことの重要性を活発な意見交換を通して学んでいました。



生徒は一日を通して、災害から自らの生命を守るために必要な「自助」の能力を身に付けるとともに、助け合いや地域との連携など「共助」の精神を育む様子が見られました。防災に関する意識が高まったことと思います。また、各クラスのHR委員が「防災支援隊」として積極的にクラスをまとめてくれました。ありがとうございました！いざというときは、皆さんの力が必要です。命を守る行動を心がけ、日頃から率先して行動できるように備えをしていきましょう。

